9月定例会　一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



「太田市独自の交通安全と運転支援」について

志友会　髙野　博善

議　員　本市とSUBARUの共同開催イベント「スバルドライビングアカデミー交通安全講習」の概要について伺います。

市民生活部長　包括連携協定を締結しているSUBARUからの提案を受け、市民向け交通安全講習の実施を見据えた試行として市職員を対象に共同で実施したものです。

議　員　「地元企業SUBARUの運転のエキスパートから交通安全が学べる」という太田市民のメリットについて所見を伺います。

市民生活部長　SUBARUの運転技術や交通安全の専門的な知見を身近に学べる機会があることは本市の大きな強みであり、交通安全意識の向上につなげることはとても有意義だと考えています。

議　員　自動車のまちとしてSUBARUが長年取り組んできた安全教育や技術を市民の交通安全や楽しさや喜びにつなげることについて、市長の所見を伺います。

市　長　地元企業の技術を市民の交通安全意識の向上につなげることは重要だと考えています。

議　員　市民が交通安全の実技講習を受けるための広い場所があれば、自動運転の実証にも活用できると考えますが所見を伺います。

市　長　実技講習は安全な実施場所の確保が重要と認識しています。共催企業や関係機関と連携し、活用可能な施設を研究しながら、実践的に交通安全を学べる機会の充実を図っていきたいと考えています。





障がいのある方が能力を発揮できる障害者雇用の推進について

志友会　岩瀬　僚

議　員　ICTやテレワークを組み合わせることで、通勤などで困難を抱える重度障がい者にも市役所で働く機会を広げていくことについて伺います。

おおた未来戦略部長　テレワークは雇用機会の拡大という点で、検討の余地があると考えています。

議　員　おおたんワークスで培ってきた業務の切り出しやノウハウを発展させ、ICTやテレワークによって、重度障がい者らが自宅などから市役所の仕事に参加できるように新たな雇用モデル事業を実証することについて伺います。

おおた未来戦略部長　さまざまな検討が必要となりますが、不可能ではないと考えています。

議　員　新たな障害者雇用を市役所でモデル的に実施することについて、市長の所見を伺います。

市　長　遠隔でも仕事ができる環境づくりは重要であり、こうした新たな雇用モデルの実証実験は進めていきたいと考えています。

議　員　市役所モデルとして民間企業や地域全体へと発展させていくことについて所見を伺います。

市　長　市役所などがさまざまな技術を用い、新たなモデルの成果を広げていくことは重要であり、多くの人が希望する仕事に就くことができる社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

■その他の質問

▷群馬大学との連携による「デジタルヘルス」の推進について





beyond OTAを支える持続可能な公共施設運営について
～指定管理事業と業務委託事業の現状と課題から～

志友会　長　正祐

議　員　全庁的に現在の公共施設の運営手法の検証を行い、指定管理ありきでなく、特性に応じて柔軟に見直していくことについて、市長の所見を伺います。

市　長　指定管理や業務委託に関わらず何が目的でどういったものが適切なのかを引き続き検討していきたいと考えています。

議　員　エアリススケートパーク太田、ドッグパークおおた、バスターミナルおおた管理棟、ふれあい農園については、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者のノウハウを最大限に活用できる運営手法を積極的に検討し、維持する公共施設から稼ぐ公共施設へ、さらに、にぎわいを生み出す公共施設へと発展すべきと考えますが、所見を伺います。

市　長　スケートパークについては、指定管理を民間事業者が担う他市の事例もあるため、適切に判断していきたいと考えています。

議　員　指定管理者の創意工夫や運営努力をさらに引き出し、その成果を市民サービスや施設の価値向上につなげていくため、今後どのように官民連携を進めていくのか、所見を伺います。

市　長　多様化するニーズに対応するために、民間の活力を利用し、まずは、市民や利用者の視点で考え、行政側としても、時代の変化に応じた柔軟な対応により、持続可能な公共施設運営に取り組んでいきたいと考えています。





本市の認知症政策について

公明党　谷之木　勇作

議　員　令和7年3月の定例会から3度目の質問になりますが、認知症の人と家族が地域で自分らしく暮らし続けられるよう、目標や具体的施策を体系的にまとめた認知症施策推進計画の策定をすべきと提案してきましたが、その後の進捗（しんちょく）状況について伺います。

健康医療部長　パブリックコメントなどを経て、年度末に策定予定となっています。

議　員　認知症の早期発見と適切な治療につなげることを目的として、認知症検診の実施や受診費用の助成が必要だと考えますが、所見を伺います。

健康医療部長　他の疾患とのバランスや支援の優先順位を考慮する必要があり、県内他市の動向も注視していきたいと考えています。

議　員　認知症の人や単身高齢者の懸念事項である飼育困難となったペットの処遇などの課題について、太田市全体として対応が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市　長　この問題は関連する幅広い対象者への対応にも関わるため、庁内や関係機関と連携しながら情報共有を図り、必要な協力体制の整備に努めていきたいと考えています。

■その他の質問

▷本市の公共交通の利便性の向上について

▷令和8年豪雨災害等を含む防災対策や空き家等の防犯対策について

